

11人の子どもたちが福島へ向かった。

知られざる農家の孤独な“声”に心を揺さぶられる、たった一日の食と命の体験。

わたしたちが変われば、世界は変わる。

2015年5月、東京。ごく一般的な16歳から23歳までの学生が集まった。初対面の人も多くなか、いささか構えてはいるものの、初々しい表情。まるで学校の課外活動のような気持ちで参加した。平和で和やかな空気が流れる。そして、到着したのは福島県須賀川市。福島第一原発から約65キロメートル離れた一軒の農家だった。

笑顔で迎える、息子と母親。そして語り始められた彼らの四年間の物語。その孤独な声に耳を傾ける。それは生涯忘れられない、たった一日の食と命の体験に、心揺さぶられる瞬間だった。



父を奪われ、土を汚され、それでもこの地で生きていく――
先祖代々、耕された土地を受け継ぐ、四年間の決意と軌跡。

2011年3月24日、福島県須賀川市で農業を営むひとりの男性が自ら命を絶った。原発事故を受け、地域の農業団体から農作物出荷停止のファックスが届いた翌朝のことだった。「お前に農業を勧めたのは、間違っていたかもしれない」。そう息子に言い残して。

それから四年。学生たちが訪れたこの農家の息子は、母とふたり、汚された土地で農作物を作り続けている。「福島の米や野菜は今までの値段では売れないし、売れても赤字になることはない」。それでも自死した父や、先祖が代々受け継いできた土地を捨てるわけにはいかないと、彼らは土を耕し作物を育て続けている。汚染された地で育てた作物を流通させる、生産者としての罪の意識。紛争解決センターでの裁判、東電からの補償金、身内からの批難…。

次々に押し寄せる内外の葛藤。これは決して報道されることになかった真実の告発、四年間の決意と軌跡。息子は言う。「これは風評じゃない、現実なんだ」と。

果たして、学生たちは何を想い、何を受け継ぐのか――。



大地を受け継ぐ

<http://daichiwo.wordpress.com/>

出演：柳川和也 榎川美津代/井藤彩 井澤美菜 石田佳那 一方田若葉 内田夏奈子 金子鈴幸 榎見隼人 千葉航平 野月啓佑 宮田俊輝 矢部諒介/白井聡 馬奈木麻太郎
監督：井上淳一 | 企画：馬奈木麻太郎 | プロデューサー：小林三四郎
撮影：鍋島淳裕 桑原正紀 堀部道将 西條謙 | 照明：堀口健 | 録音：光地拓郎 | 整音：白井聡 | 編集：榎田智子 | 助監督：横田浩行 | 製作進行：長谷川和彦
宣伝プロデューサー：矢澤一穂 | 海外窓口：中西佳代子
エンディング曲：フラワーカンパニーズ「日々あふく」(Sony Music Associated Records) | 協力：東放学園映画専門学校 | 河合堂 COSMO | 明治大学舞台映画製作研究部
『大地を受け継ぐ』製作運動体：馬奈木麻太郎 | 井上淳一 | 太秦株式会社 | 配給：太秦 | ©『大地を受け継ぐ』製作運動体 | 2015年/日本/カラー/HD/86分

◆ 2022年5月14日(土) 14:00~16:30 (開場 13:30)

約1時間半の上映後、自由参加の感想を語り合う会を予定しています

◆ アイネス 2F(大分県立美術館隣) 大分市東春日町 1-1 097-534-2062

◆ 一般 前売 700円(トキハレイト等/電話予約可) 当日 1000円 学生 100円

主催：伊方原発をとめる大分裁判の会 090-7153-8775(代表)

後援：大分合同新聞社

連絡先：090-2296-1953 ohayo-noen@docomo.ne.jp(大原)